

一般質問



元気いっぱいの中中学生

を通して人材育成に力を入れ、自立する地域自治推進に力を入れてまいります。

質問 奥州市地域福祉計画作成はどこまで進んでいるか伺います。

市長 市が作成する地域福祉計画と、社会福祉協議会が中心になって作成中の地域福祉活動計画を今年度中に完成します。この7月から、ワーキンググループもスタートし、市民各層、高齢者、子育て中の父母、支援を必要とする人等との懇談やアンケート等を通して地域福祉の課題を明らかにし、地域福祉計画を仕上げます。

質問 中学生の学力向上対策について伺います。

教育委員長

学力向上対策が市内小中学校最大の課題であり、教育委員会、学校、教育研究所等一体となって授業力アップを中心とした対策に取り組んでいます。小中学校授業交流、学習支援員の活用、家庭学習の充実、中一ギャップの克服等中学校の学力向上対策に重点を置いて実践しています。



おいかわ うめお 男
及川 梅男

○清浄国日本に口蹄疫発生、市の対応について
○「耕畜連携」による口蹄疫発生防止策について

質問 先般宮崎県で発生確認された「口蹄疫」は50日も経過し、連日テレビ、新聞等で報道され国民の多くが心配しています。国、県も全力で対処しているようですが、次々と拡大するばかりです。市長はこの事件をどのように認識され、またその対応について伺います。

市長 4月20日宮崎県において口蹄疫の確認以来、6月10日現在に至るまで3市5町の農場で発生、合計18万6000頭に及び、懸命に防疫に努めているが、未だ拡大を止めることができない実情である。

ります。口蹄疫とは口蹄疫ウイルス感染による急性家畜伝染病であり、一度発病すると急速かつ広範囲に蔓延し、その被害は甚大であり、最も警戒すべき家畜伝染病であります。その対策は発生国、地域から侵入を未然に防止すること、また発生した場合は、直ちに移動搬出を禁止し、拡大を防ぐための殺処分、防疫等消毒を迅速に実施することを基本とします。



市と農協がいち早く防除対応

質問 口蹄疫清浄国の我が国で発生したこと、誠に残念であります。市の畜産振興をさらに推進する方策として秋の稲ワラを畜産農家に供給する「稲ワラ確保対策」を市

が実施すべきと思いますが伺います。

市長 米づくり農家と畜産農家との稲ワラ堆肥交換は今日も継続していることであり、地元の稲ワラを粗飼料や敷料として利用することは最も安心・安全で重要なことであり、耕畜連携事業をさらに推進するために検討してまいります。

転作政策について 介護保険制度について



こんの ひろふみ 裕文
今野 裕文

質問 「戸別所得補償モデル事業」の導入により、米の買いたたきで米価の下落が進んでいます。どう対応するか伺います。また、「水田利活用自給力向上事業」は、実質農家にとって減収となります。大型機械を導入した「担い手」農家や集落営農の経営が苦しくなることが予測されます。農家の減収分を、平成20年度相当まで、市が独自に支援する考えがないか伺います。

市長 米価下落については、動向を注目し、国、県、農協と連携し、適正に対応します。国に対し、価